

ゼミ用 SNS サイトの作成について

諸橋 利

目 次	
1 はじめに	1
2 テーマ	1
1 何を作るのか	1
2 誰のために作るのか	1
3 どのような役に立つのか	2
4 類似するものとその考察	3
3 計画	5
1 背景となるコンピュータ技術	5
2 作業計画	6
4 実際の制作	7
1 データベースについて	7
2 管理者専用ページについて	8
3 ログイン画面・ログアウト画面について	10
4 トップ画面について	10
5 掲示板について	13
6 メンバー一覧画面について	13
7 リンク集について	14
5 評価	14
1 アンケートの目的	14
2 アンケートの結果	15
3 自己評価	19
6 今後の課題	21
1 改良点	21
2 今後の発展	21

1 はじめに

私が所属している大谷大学文学部人文情報学科福田ゼミの基本的なテーマは、「人の役に立つものを作ろう」である。そこで、私は「ゼミ用 SNS サイトの作成について」というテーマで、卒業制作と卒業論文の作成を行うことにした。

2 テーマ

(1) 何を作るのか

卒業制作として SNS⁽¹⁾の作成をテーマとしたきっかけは、友人から紹介されてやり始めた国内最大の SNS サイトである mixi⁽²⁾がきっかけである。mixi は様々な機能を使って友人や知人と交流することができる。そこで、この SNS を使って同じ福田ゼミのゼミ生と、交流を深めることができるものを作成できないかと考えた。福田ゼミのゼミ生にとって誰にでも使いやすく、交流を深めることができるような役に立つものを作成することが目標である。

(2) 誰のために作るのか

私が作成した SNS の対象とする人は、福田ゼミに所属している人たちである。私がこの福田ゼミに入った当初、知り合いがほとんどおらず、気軽に話しかけたりわからないことを尋ねたりすることがなかなかできなかった。現在では何気ない会話をしたり、一緒に食事をしたりして楽しむことができている。ゼミに入った当初、知り合いがおらず私と同じような思いをしたことがある人が、他にもいるのではないかと考えた。

そこで、友人に紹介された mixi のことを思い出し、人の役に立つも

のを作ろうというゼミのテーマに沿って、福田ゼミ専用の交流を深めることを目的とした SNS の作成を行うことに決めた。

(3) どのような役に立つのか

3 回生になると、各自自分の興味を持ったゼミを選択しなければならない。選択したゼミがもし、知り合いや友人ばかりであるのならば、すでにある程度お互いのことを知っているかもしれないので、私の SNS はあまり必要ないであろう。

しかし、ほとんどの場合は知り合いや友人が数人いたとしても、顔は見たことあるが話したことのなく知らない人や、顔もまったく見たことのないこのゼミに入って初めて出会ったという人がいるであろう。こういう場合において私の作成した SNS を使用し、ゼミ生どうしで交流を深め合う手段の一つとして役立ててもらいたい。

また、同じゼミ生どうしであっても学年が違う先輩と後輩という立場の場合、学年が違うということもあってお互いになかなか接する機会が少ないであろう。私自身も先輩や後輩と普段接することは少なく、話したことのなく人のほうが多かった。先輩に卒業論文や授業のことなどについて相談したいと思ったことや、後輩にいろいろなアドバイスをしてあげたいと思ったことが今まで何度かあった。普段接することが少ないために、こういうことを相談したりアドバイスすることなどがしづらい環境であった。

福田ゼミでは違う学年の人どうしが接する機会や場が少ないように感じた。このような場合であっても、私の作成した SNS があれば先輩と後輩が接するきっかけとなるはずだ。

(4) 類似するものとその考察

SNS の作成を行うにあたり、参考にするため福田ゼミの過去の卒業制作物の中で、私と同じような SNS を作成したものを探してみたところ、残念ながら類似するような制作物は見つからなかった。ゼミ専用 SNS の作成をテーマとしたが、私は今まで本格的に SNS を作成した経験はなかった。3 回生の時、授業の中で簡単なブログを作成した程度である。そのため、卒業制作として SNS を作成していくにはどうしても参考にするための資料などが必要になってくる。

担任である福田洋一教授から、「はじめての人のためのかんたん PHP+MySQL 入門」⁽³⁾ という PHP と MySQL の入門書をお借りしたが、このような入門書だけではなく、実際に SNS として機能しているものも参考にして作成を行っていくために必要であった。そこで、日本最大の SNS として有名な mixi を参考にすることにした。

mixi はすでに登録されているユーザーからの招待を受けないと利用登録ができない、完全招待制を採用している。招待制をとることでユーザーの素性が明らかとなり、健全で安心感のある居心地の良いコミュニティを作り、利用者どうしの交流を深めることを目的としている。交流を深めるという意味では、私の SNS と目的は同じである。ゼミ専用の SNS を作成することを卒業制作として決めた際に、もともと交流を深めることを目的とした mixi というものがあるのだから、これを利用すれば新たに SNS を作成する必要があるのだろうかという疑問を感じた。

mixi には掲示板を利用して共通する趣味や関心ごと、考えかたなどを他のメンバーと共有することができる mixi コミュニティという機能がある。この機能を利用すれば新たに別の SNS を作成しなくても、ゼミ生どうしで交流を深めることができるかもしれない。しかし、先程も

述べた通り mixi は完全招待制を採用している。もし、ゼミ内にすでに登録されているユーザーがいなければコミュニティを作ることは愚か、招待を受けることができずに利用登録することすらできないという問題がある。ゼミ生全員を招待して登録してもらうのも時間がかかり、大変な作業である。

また、完全招待制である mixi だが、不特定多数の人が大勢存在する場所でもある。友人や知人ではないそういった他のユーザーから足跡がついたり、メッセージが送られてくることもあるだろう。他のユーザーからのアクセスをブロックする機能もあるが、ゼミ生以外の不特定多数の人と関わるのは心配だという人も当然いるだろう。mixi には交流するための様々な機能がたくさんある。使ってみれば便利だと思う機能もあるが、はたしてこれだけの機能がすべてゼミ生どうしのコミュニティに必要なのであろうか。どれだけ便利な機能がたくさんそろっていても、使用しない部分が多くては誰にでも使いやすく役に立つものとは言い難い。

やはり mixi のコミュニティのような機能を利用するのではなく、福田ゼミ専用としたものが必要であると感じた。不特定多数のユーザーと関わる心配のない、福田ゼミに特化したものを作成することを卒業制作として行うことを決断した。私の作成した SNS はもちろん不特定多数の人と関わる心配はなく、管理者である福田ゼミ内の者、例えば福田教授がメンバーの登録を行う。人文情報学科福田ゼミのゼミ生だけの専用の SNS である。

3 計画

(1) 背景となるコンピュータ技術

作成を行うにあたり、どのような機能やページが必要であるのか考えてみた。しかし、必要であると考えた機能やページを、すべて作成することは困難であろう。複雑なものを作成することで作業が膨大になり、システムの不具合を招きかねないからである。また、私のコンピュータに関する技術や知識だけでは、実現不可能なものもあるだろう。それらすべてを作成するわけにはいかないの、ある程度妥協する必要がある。今回の卒業制作では SNS として必要最低限の機能を持ったものを作成していくことにした。

背景となるコンピュータ技術には、プログラムを作成する PHP とデータを管理する MySQL、デザインを作成する CSS を使用する。PHP を使用する理由は、これまでの授業の中で使用したことがあるということと、Web アプリケーションの作成に特化しており HTML 文に直接埋め込むことができ、初心者でも扱いやすいからである。MySQL は Windows や UNIX など様々な OS 上で稼動することができ、Web アプリケーションでもよく利用されているからである。そして、CSS はフォントの大きさや色などレイアウトに関する記述を HTML 文から切り離すためである。

HTML にレイアウトの記述を埋め込むことは一昔前の方法であり、CSS ファイルを別に用意し分離することで HTML 文をシンプルにすることができる。レイアウトを変更する場合は CSS ファイルを変更するだけで一括してレイアウトを変えることができるからである。

(2) 作業計画

作成に取り掛かる前に、どのような順序で SNS を作成していくのか簡単に作業計画を立てた。むやみやたらに作業を行っていくのではなく、自分の立てた計画通りに作業を進めていくことで、効率よく作業を行うためである。

まず、SNS として機能するためには、どのような機能やページが必要であるのかを考えた。ここで考えたものを基にして作成を進めていき、さらに必要だと思ったものを追加しながら作業を行った。

次に、どのようなデザインにするのか紙に簡単なスケッチを行っていった。スケッチをすることでデザインや各機能、ページをどのように配置するのかイメージを膨らませていった。誰にでも使いやすく見やすいことをコンセプトにスケッチを行った。ここでの作業でどの程度のページ数を作成しなければならないのか把握することができた。また、すべてのページに共通するタイトルなどのデザインをここで考えた。

必要な機能やデザインなどを決めたところで、次はデータベースの作成を行った。私の SNS では、管理者の方が学生番号とパスワードを入力してメンバー登録を行う。また、プロフィールを表示する機能があるので、個人情報を管理するためのデータベースを作成した。

次に、掲示板を管理するためのデータベースを作成した。掲示板では記事を投稿する際に、id と名前といった個人の情報以外に日付とタイトルと本文を入力しなければならない。そのために必要なデータベースである。

データベースを作成し、次は各ページの作成を行った。始めに、メンバー登録が行えるようにするため、管理者専用のページを作成した。メンバーの登録は管理者の方が登録したい人の学生番号と、管理者の方が

発行したパスワードで登録を行う。メンバーの登録が行えるようになれば、ユーザーがログインするためのページを作成しログインが行えるようにした。

ログインが行えるようにできれば、残りの各ページの作成を行っていった。すべてのページがある程度完成すれば実際に使用にもらうことで、自分自信では気がつかなかった点を意見として取り入れるためにアンケートを実施した。指摘を受けた点などを改良し、卒業制作の終了である。このような計画に沿って作業を進めていった。

4 実際の制作

(1) データベースについて

この SNS では個人の情報を管理するための fsc.sql (図 1 参照) というデータベースと、掲示板を管理するための keijiban.sql (図 2 参照) というデータベースがある。

fsc.sql はプロフィール機能などの、個人情報を管理するためのものである。各フィールドの説明として、name は名前のためのフィールドである。他のメンバーからその人の名前がわかるようにするためである。nickname はニックネームのフィールドである。名前以外にも、気軽に呼び合えるニックネームがあれば交流が深まると考えた。gakunen、bango、age は学年と学生番号と年齢のフィールドである。福田ゼミに所属しているゼミ生が私の SNS の対象者であるが、先輩と後輩との交流を深めることも目的の 1 つとしている。学年や年齢が表示されていれば先輩なのか後輩なのか確認することができる。hobby は趣味のフィールドである。selfintroduction は自己紹介のためのフィールドである。自己紹介をすることで少なからず相手のことを知ることができ、

交流を深めるきっかけとなると考えたフィールドである。password はパスワードのためのフィールドである。初めてログインを行う場合、管理者の方が発行したパスワードでログインを行わなければならない。その後、自分の好きなパスワードに変更するために必要だと思ったフィールドである。

掲示板を管理する keijiban.sql のフィールドは記事を投稿する際に、掲示板として必要不可欠な項目であると考え作成したものである。name は投稿者の名前を管理し、hiduke は投稿した日付を管理するフィールドである。title は記事のタイトルを管理し、honbun は記事の本文を管理するためのフィールドである。

(2) 管理者専用ページについて

この SNS では管理者の方がメンバー登録を行うシステムになっている。そのため、登録を行うための管理者専用のページが必要であると考えた。そこで、管理者専用のメンバーを登録するための管理者専用ページを作成した。1つ目は、管理者専用ページのトップ画面となる管理者メニュー画面 (図 3 参照)。このメニュー画面からメンバー登録を行うためのページへと移動することができる。2つ目は、学生番号とパスワードで実際に登録を行うためのメンバー登録画面 (図 4 参照)。3つ目は、メンバー登録された結果を表示し、確認するための登録確認画面 (図 5 参照)。以上の 3つが管理者専用のページである。

管理者メニュー画面は管理者専用ページのトップ画面となるもので、メンバー登録画面へ移動できるようにするため作成したものである。

メンバー登録画面では、登録したい学生の学生番号と管理者の方が発行するパスワードで登録を行うために作成したものである。学生番号を

登録する際に必要な情報とした理由は、普段から授業などの様々な場面で使用しているということで、自然と頭の中に記憶しているものだからである。ほとんどの方が学生証などを確認しなくても学生番号を書くことができるであろう。ログインをする際に学生番号ならば素早く入力することができる、スムーズにログインが行えると考えたからである。そして、一人ひとりに割り当てられた固有の番号であり、他の人と同じ番号になることがないからである。

ここで発生した問題は、パスワードを入力した際に入力された文字がそのまま表示され、他の人にパスワードを見られないようにするためのアスタリスクが表示されないという問題が発生した。原因は `<input type="text" name="password">` の `type="text"` という部分が、通常入力される `"text"` となっていたことが原因である。`<input type="password" name="password">` とすることで問題を解決した。

登録確認画面はメンバー登録が正常に登録できた場合、画面上に学生番号とパスワードが表示されるようになっている。登録を行った学生番号とパスワードをもう一度確認するために、あえて表示されるようにプログラムを行った。ここで発生した問題は、学生番号とパスワードが未入力だった場合でも登録が行われてしまうという問題点に気がついた。本来ならば未入力だった場合、正常に登録が行われなかったというエラー画面が表示されなければいけないはずである。未入力だった場合、エラー画面を表示するためのプログラムを見落としていたことに気がつき、以下のようなプログラムを行った（図 6 参照）。エラーを表示するプログラムを付け加えることで、未入力だった場合は戻ってやり直すエラー画面が表示されるようにプログラムを行った。

(3) ログイン画面・ログアウト画面について

ログイン画面（図 7 参照）とログアウト画面（図 8 参照）は SNS としては、なくてはならない機能である。この 2 つの機能がなければログインすることもログアウトすることもできないからである。SNS として必要最低限の機能を持ったもの作成していくことをコンセプトとしているので、必要最低限の機能であるとして作成を行った。

ログイン画面は管理者の方によって登録されたユーザーが、この SNS へログインするための画面である。input type によって作成された入力フィールドに、学生番号とパスワードを入力する。入力された文字は PHP 側で受け取る際の識別子となり、PHP の場合は文字列がそのまま変数名となる。<form action="top.php" method="POST"> タグを使って、トップ画面となる top.php ファイルへ入力された値を受け渡す。この場合でも入力された文字が他の人に見られないように、<input type="password" name="password">というコマンドを指定した。

ログアウト画面は何もデータなどを受け渡す必要はないので、そのまま画面上のログアウトボタンをクリックするだけでよい。

(4) トップ画面について

ログインを行った後、一番最初に表示される画面が、このトップ画面（図 9 参照）である。まず、画面の上部にある FSC~Fukuda Seminar Communications~（図 9 参照）というタイトルは、「福田ゼミの仲間どうし交流を深め合おう。」という意味をこめて名づけたものである。どのページにいてもこの FSC にいるとわかるように、各ページに表示されるようになっている。

タイトルの下にあるメニューバー（図 9 参照）は、各ページへ移動するためのものである。どのページにいても素早く各ページへ移動を行えるようにすることと、一目でどのようなページがあるのかわかるようにするために、html で順序のないリストを表示する ul タグを指定し、CSS でブロック要素のタグである、display: block; の指定を行った。各メニューはマウスを上に乗せられている状態の時に色が変わるようにする hover を CSS で指定した。どこにマウスを乗せているのかわかりやすくするためである。

画面の左側にある最新の記事（図 9 参照）は、最新記事があれば一目で確認できるようにプログラムしたものである。プログラムは以下の通りである（図 10 参照）。ログインした際にトップ画面に最新記事が表示されれば、掲示板のページへと移動しなくても最新記事があるのかどうか確認することができ、便利だと考えた。メニューと同様にマウスを上に乗せた状態の時に色が変わるように hover を指定することで、どこにマウスを乗せているのかわかりやすいようになっている。

画面の中央にあるプロフィール（図 9 参照）は、ユーザーが自分のプロフィールを確認するためのものである。自分のプロフィールをトップ画面に表示させている目的は、プロフィールの左にあるプロフィール編集リンクから素早くプロフィールの編集を行うためである。初めてログインを行った際は、プロフィールが入力されておらず、ログインを行うための学生番号しか表示されていない。そのため、ログインを行って素早く自分のプロフィールを入力できるようにすることが、トップ画面に表示させている目的である。

初めてログインする際のパスワードは管理者の方が発行するので、自分の新しいパスワードに変更するには、プロフィール編集（図 11 参照）

から行うことができる。このプロフィールを編集するための機能は、学年や年齢が変わった時や、以前に入力したものを変更したいという時などに、必要不可欠な機能である。

もしここで、プロフィールの編集が正常に行われなかった場合、やはりそれを伝えるためのプログラムが必要である。正常に編集が行われなかったにもかかわらず、何もエラーなどの表示がなければ正常に編集が行われたのかどうか分からないからである。そのために、以下のようなプログラムを行った（図 12 参照）。正常に編集が行われた場合は何も表示されずトップ画面へ戻るようになっている。

プロフィールはユーザー本人以外の他のメンバーが、その人のプロフィールを知りたいという際にも使用する機能である。メンバー一覧画面から名前をクリックすると、他のメンバーのプロフィールを確認することができる。

画面の右上にある日付（図 9 参照）は携帯電話などを取り出さなくても日付を確認することができ便利だと考え、表示されるようにしたものである。作成中に日付が気になったことがあり、それがきっかけで日付の表示を行っている。

画面の左上に表示されている〇〇さんのページ（図 9 参照）は、ログインを行って誰のページであるのかわかるようにするためにプログラムしたものである。

各ページへ移動するためのすべてのリンクやボタン部分に、PHP の外なら `<?php echo $id; ?>&name=<?php echo $name; ?>` という PHP のプログラムを記述する。PHP の中なら `id=$id&name=$name` と記述し、id と名前のデータを送るようにする。この送られて来たデータを受け取るための関数を記述する。リンクから受け取る

場合は `extract($_GET);` という関数で受け取り、ボタンから受け取る場合は `extract($_POST);` という関数で受け取る。そして、`<?php echo $name;?>`さんのページという PHP のプログラムで画面上に表示する。

各画面に表示されるようになっており、今自分が誰のページにいるのか確認できるようにプログラムを行った。プロフィール編集から名前の欄を入力することで、名前が表示されるようになっている。

(5) 掲示板について

掲示板（図 13 参照）を作成した目的はゼミ生どうしが自由に記事を投稿することで、様々な話題について会話をすることで交流を深めるために作成した機能である。実際に作成を行う前は、一人ひとりの日記形式で作成を行うつもりであった。しかし、日記を書く手間を省くことと、掲示板にする方がタイトルと本文を入力するだけで簡単に記事を投稿することができ、話題にも入りやすいと考え掲示板形式にすることにした。

(6) メンバー一覧画面について

メンバー一覧画面（図 14 参照）は、この SNS にいるメンバーを確認するために作成したページである。どのくらいの人数がいてどんな人がいるのかなど、知りたいと思うのは当然である。そういう場合に必要な機能であると考えて作成を行った。学生番号と名前と学年が表示されるようになっており、名前をクリックすることで、そのメンバーのプロフィール（図 15 参照）を見ることができる。表示されている学生番号、名前、学年以外のプロフィールを見れるようにすることが目的である。

(7) リンク集について

リンク集（図 16 参照）はよく利用する Web サイトや、授業の参考になる Web サイトを掲載しており、利用したいと思った時にその Web サイトへアクセスしやすくするために作成したページである。福田ゼミではゼミの時間以外にサブゼミや演習、講義などの授業を履修する必要があり、どの授業も一度休むと挽回するのが非常に大変である。演習では Unix、プログラミング、TeX、XHTML、CSS、SQL データベース、CGI による Web アプリケーションなどを行う。非常にハードなゼミであるので、授業の参考になるものや役に立つものをまとめてリンク集として、利用しやすいようにすることを目的としている。

5 評価

(1) アンケートの目的

いくつか改良を加えなければならぬ部分はあったが、人文情報学科福田ゼミの 3 回生の方 4 人に対して SNS を実際に使用してもらい、アンケートに協力していただいた。

私の作成している SNS の対象者は福田ゼミに所属している方である。その方たちに使用してもらうことで自分自身では気がつかなかった意見や感想を取り入れることが今回のアンケートの目的である。人の役に立つものを作ることが私の所属している福田ゼミのテーマである。自分がどれだけ人の役に立ち必要であると思えば作成したものであっても、実際に第三者の方に使用してもらわなければ本当に役に立つものなのかどうか知ることができない。

自分一人で考えて作成したものではなく、福田ゼミのゼミ生にとって本当に誰にでも使いやすく役に立つものなのかどうか意見を取り入れる

ために今回のアンケートを実施した。

(2) アンケートの結果

今回行ったアンケートの質問内容は、質問 1「実際に使用してみて良いと思った点」、質問 2「改良が必要だと思った点」、質問 3「その他、デザインや機能のことなど使用してみての感想」の 3 つである。

質問 1「実際に使用してみて良いと思った点」での意見は以下の通りである。

- ・ とても見やすい画面である。
- ・ 掲示板で投稿するとトップ画面に記事がすぐに反映される点。
- ・ 学生番号とパスワードを入力すればすぐに使える。
- ・ 基本的な SNS としての働きはしっかり持っていると思う。
- ・ 掲示板はゼミの SNS ではとても役に立ちそうだと思う。

という意見をいただいた。まだ試作段階の状態で行ったアンケートなので、良いと思った点という質問はどのような意見が出るのかがあまり予想ができなかった。しかし、予想に反して自分が思っていた以上に具体的な意見がいくつか出ていた。

各ページを作成していく際に、あまり複雑なものよりもシンプルなデザインのものの方が誰にでも使いやすく見やすいと考え作成を行っていった。「とても見やすい画面である。」という意見をいただき良い評価を得ることができた。

今回の卒業制作では、SNS として必要最低限の機能を持たせることをコンセプトに作成を行った。「基本的な SNS としての働きはしっかり持っていると思う。」という意見をいただき、SNS として必要最低限の基本的な働きを持ったものを作成することができたという実感を得るこ

とができた。

各メンバーが自由に記事を投稿することで交流を深めることを目的とした掲示板は、「掲示板はゼミの SNS ではとても役に立ちそうだと思う。」という意見をいただき、目的を達成することができたと感じる意見であった。

第三者の方に使用してもらうことで、多数の良いという意見をいただいた。ここまでの作業は自分一人で行ってきたので、自分自身には使いやすいと感じるように制作作業を進めてきた。しかし、自分だけに使いやすく便利なものではなく、自分以外の第三者の方にとっても良いものを作成していかななくてはならない。このような良いという多数の意見をいただき、第三者の方にとっても使いやすく良いものができたのではないだろうか。

質問 2 「改良が必要だと思った点」での意見は以下の通りである。

- ・ どのように利用すればよいかのわかりにくい。
- ・ トップページからの最新記事のリンクが、どの記事をクリックしても表示される画面が一緒である。見たい記事を一番上に表示させるようにしたらいいと思う。
- ・ 掲示板でタイトルと本文を入力しなくても記事が更新される。
- ・ メンバー一覧から他のメンバーのプロフィールにいけるリンクがあれば、もっと交流しやすそうです。
- ・ 掲示板は一つの投稿にレスをつけている方が、他のメンバーからの違う話題にも入りやすいと思う。

という意見をいただいた。アンケートの結果を読んで一番最初に気になった意見は、「どのように利用すればよいかのわかりにくい」という意見であった。まず、なぜこのような意見が出たのかその理由につ

いて考えてみた。改めてアンケートを実施した時のことを思い出してみると、私はアンケートを実施する前に自分のテーマや目的、どのようなものを作成しているかなどの説明が不十分ではなかったのかと考えた。アンケートに協力してもらい意見を得るということに気を取られ、そういった説明を疎かにしてしまい、目的やどのようなものを作成しているかなどをあまり説明せず、わからないまま福田ゼミの3回生の方たちに協力していただいたのではないだろうか。「私のテーマは〇〇です。こういう目的でこのような SNS を作成しています。」と、使用してもらう前にしっかりと説明しておくべきだったと考えている。

次に、「トップページからの最新記事のリンクを、見たい記事を一番上にして表示させるようにしたらいいと思う。」という意見であるが、この点はアンケートを実施する前から気がついていた点である。しかし、ほかの部分で改良中であったためアンケートの前に改良することは断念した。

「掲示板でタイトルと本文を入力しなくても記事が更新される。」という意見は、指摘を受けてこの時初めて気がついたことである。アンケート後、問題を解決するために以下のようなプログラムを行った（図 17 参照）。タイトルと本文が未入力の場合、エラー画面が表示されるプログラムを付け加えた。自分では気がつかなかったことを発見でき、より良いものを作るための大変役に立った意見であった。

最後の「掲示板は一つの投稿にレスをつけている方が、他のメンバーからの違う話題にも入りやすいと思う。」という意見に対しては、確かにこのようなレスをつけた形式にするほうがメンバーどうしの交流が増えるのではないかと思い参考になった意見である。しかし、時間的な都合や自分にこれを作るための技術があるかどうかを考えた後、レス形式

にするのかどうか判断することにした。

質問3「その他、デザインのことや機能のことなど使用してみたの感想。」での意見は以下の通りである。

- ・ シンプルで良いデザインだと思う。
- ・ 個人の掲示板は日記を書く手間がなくていいと思いました。
- ・ 個人だけではなく、他のメンバーと色々話し合ったり質問できるスレッド形式の全体の掲示板があってもいいと思いました。
- ・ 見やすい色合いであるが、SNS としてはデザインが少し地味に感じた。
- ・ もっと機能などを充実させていけばさらに良くなり、このようなゼミ専用の SNS はゼミ生どうして交流ができ役に立つと思いました。

という意見をいただいた。ここで気になった意見は、「シンプルで良いデザインだと思う。」という意見と、「見やすい色合いであるが、SNS としてはデザインが少し地味に感じた。」という意見である。どちらもデザインに関する意見である。あまり複雑なものよりもシンプルなデザインのものの方が誰にでも使いやすいと考え、現在のデザインで作成を行った。

しかし、いくら自分がシンプルで使いやすいと考え作成したもので、第三者の方が使用してみるとそれが物足りず地味だと感じる方もいるのだということがわかった。

そして、「もっと機能などを充実させていけばさらに良くなり、このようなゼミ専用の SNS はゼミ生どうして交流ができ役に立つと思いました。」という意見では、私の作成しているゼミ専用の SNS が人の役に立つものだということが実感できた意見であった。機能などをもっと充実させていけばという指摘を受けているので、もっと改良を加えていか

なければならないのはもちろんである。しかし、「人の役に立つものを作ろう」というゼミのテーマにしたがって SNS の作成を行い、それが少数の人であっても役に立つものということがわかり喜びを感じることができた。

福田ゼミの 3 回生の方たちに今回アンケートにご協力していただいたおかげで、今まで自分自身では気づくことができなかったことを知ることができ大変参考になった。また、様々な改良点も発見することができた。

(3) 自己評価

今回、卒業制作として「人の役に立つものを作ろう」というゼミのテーマに沿って、福田ゼミのゼミ生どうしで交流を深め合うことを目的とした SNS の作成を行った。SNS として必要最低限の機能を持ったものを作成することをコンセプトに作成を行い、アンケートの結果から「基本的な SNS としての働きはしっかり持っていると思う。」という意見をいただいた。少なからずだがこういう意見をいただいたことで、100 パーセントとは言えないが、全体的には完成させることができたと感じている。

また、「もっと機能などを充実させていけばさらに良くなり、このようなゼミ専用の SNS はゼミ生どうしで交流ができ役に立つと思いました。」という意見もいただいた。こちらも少なからずこういう意見をいただいたことで、もっと機能を充実させていく必要はあるが、私の作成した SNS そのものは交流を深めるための役に立つものとして、全体的に見れば完成させることができたのではないかと考えている。

しかし、もっと多くの人に受け入れてもらうには、現在より機能を充

実らせていくことや、作成途中に出合った様々な問題を解決させていく必要がある。全体的には目標としていたものをある程度完成させることができたが、デザイン面と機能面に分けて考えると、問題が残る部分もある。

各ページのデザイン面では、誰にでも見やすく使いやすいものを作るために、複雑なものではなくシンプルなデザインになるように作成を行った。この点では、デザインに関して良いという意見を多数いただいたので、デザイン面では目標を達成することができたと感じている。しかし、SNS としては少し地味であるという意見もあったということを忘れてはいけない。すべての人が良いと思うデザインを作ることは不可能であろう。今回は悪いという意見よりも、良いという意見の方が多数であったので目標を達成できたと考えている。

機能面では、アンケートを実施した際に指摘を受けた点や、作業中に
出合った問題点をいくつか解決することができなかつたので、目標を達成できたとは言い難い。アンケートの結果から、「掲示板でタイトルと本文を入力しなくても記事が更新される。」という意見と、「メンバー一覧から他のメンバーのプロフィールにいけるリンクがあれば、もっと交流しやすそうです。」という意見に対しては、改良を加え問題を解決することができた。その他の問題点や改良しなければならない点に関しては、解決することができず非常に残念である。

私の評価として、全体的には目標としていたものがある程度完成できたと感じている。しかし、いくつか問題点や改良を加えなければならない部分などが残り、少し満足し難い結果であった。

6 今後の課題

(1) 改良点

自己評価のところで述べた通り、SNS を完成させることはできたが、いくつか問題が残る結果となってしまった。原因は複雑なものを作成することによって作業が膨大となり、システムの不具合を招く恐れがあったことや、私の技術不足などが上げられる。アンケートの質問 2 での意見の 1 つ、「トップページからの最新記事のリンクが、どの記事をクリックしても表示される画面が一緒である。見たい記事を一番上に表示させるようにしたらいいと思う。」という意見。確かにそうだと私自信も感じた意見であったが、改良を加えることができなかった。

アンケートの質問 3 での意見の 1 つ、「個人だけではなく、他のメンバーと色々話し合ったり質問できるスレッド形式の全体の掲示板があってもいいと思いました。」という意見。現在の掲示板の形式であっても支障なく使用できるということもあり、スレッド形式には改良を行わなかった。もし、改良を加えることができたならば掲示板としての質をもっと高められたのではないかと感じた。

その他にも、機能をもっと充実させていかななくてはならない点や、管理者専用ページにパスワードを設定し、ログインが行えるようにしなければならない点などが今後の課題として残っている。

(2) 今後の発展

すべての制作作業を終え、いくつか課題の残る結果となってしまったが、今後私の制作した SNS を福田ゼミにとって本当に役に立つ便利なものにしていくには、どのように発展させていけばよいのだろうか。

まず、第一にするべきことは、改良点のところでも述べたような現在

残っている課題をすべて解決していくことであろう。何か問題が残っている場合は、実際に使用した際に支障が起これば使いづらいものになってしまう。使いづらくては本当に役に立つ便利なものとは言い難い。

そして、より交流を深め合うための充実した機能を、もっと付け加えていくことが必要である。例えば、飲み会などのイベント事を登録することができる機能や、特定の人にメッセージを送信することができる機能など、様々なものを付け加えていくことでより質の高いものができるであろう。今後、福田ゼミにとって本当に役に立つ便利なものとして後輩たちに使用してもらうために、さらにこのゼミ専用の SNS を発展させていきたい。

7 おわりに

今回の卒業制作を終えて、人の役に立つものを作ることの大変さを学ぶことができた。どのようなものを作成するのかテーマを決めるところから、完成に至るまで様々な苦労があったが、完成させることができ喜びを感じることができた。この経験を私は忘れないであろう。

注

- (1) ソーシャル・ネットワーキング・サービス
- (2) <http://mixi.jp>
- (3) 紙谷歌寿彦著 2003年 秀和システム

文献表

「とほほ WWW 入門」 <http://www.tohoho-web.com/www.htm>

「PHP マニュアル」 <http://search.net-newbie.com/php/>